

KANAGAWA

看護 だより

医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院



エントランス

3東病棟
患者カンファレンス



患者ケアカンファレンスを日々行っています

茅ヶ崎駅前訪問看護ステーション

院内にあるので顔の見える連携が強みです



今月の
表紙

医療法人徳洲会
茅ヶ崎徳洲会病院

→施設の紹介は24ページに掲載しています

Vol.205

2022年7月

令和4年度
会員数 35,724人
(令和4年7月1日現在)



公益社団法人

神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1

神奈川県総合医療会館内

TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905

<https://www.kana-kango.or.jp/>

研修風景



新人看護師がエンゼルケアを体験しました

発熱トリアージ



「ゼロ」コロナで頑張っています

発熱外来



多くの発熱患者様をスーパーハウスで診療しています

Contents

- 健康ひろば「片頭痛」…………… 2～3
- 特集「医療ソーシャルワーカー」第2弾…………… 4～5
- スペシャリストが行く…………… 6
- 災害支援ナース特集②…………… 7
- 令和4年度 通常総会開催報告…………… 8
- 令和4年度 役員紹介 委員会名簿…………… 8～9
- 令和3年度 事業報告…………… 10～16
- 令和3年度 決算報告…………… 17～21
- 理事会報告…………… 21
- かながわ看護フェスティバル…………… 22
- サンリオピューロランド無料ご招待…………… 23
- こんにちは事務局です／表紙の写真／編集後記… 24



片頭痛

はじめに

頭痛は誰しも一度は経験するありふれた症状ですが、それが慢性的に繰り返されるような慢性頭痛患者は、日本では国民の約4割（4000万人）が当てはまるとの大規模疫学調査結果¹⁾があります。中でも片頭痛患者は約840万人と推計されています。しかし慢性頭痛患者の多くは医療機関を受診せず適正な診断や治療を受けていないのが現状です。いまだにわが国では「たかが頭痛で」という風潮が根強く、必要となれば市販の鎮痛剤を服用して治まるのでそれでよし、としていることが多いのも一因です。

片頭痛の誤解

慢性頭痛の中でも生活への支障をきたしやすいのが「片頭痛」です。まずは正しく診断することが重要ですが、実際にはそれがなされていないことが多いのです。この理由として日本語で「片頭痛」と書かれている疾患名に問題があります。「片頭痛」は頭の片側が痛くなるものだと思われがちですが、約40%は両側性です。またズキンズキンという拍動性頭痛であるとも言われますが、約50%は非拍動性です。ましてや「片頭痛」の約75%に肩こり・首こりが存在すると言われており、「緊張型頭痛」と間違われてしまいがちです。本来「片頭痛」をはじめ頭痛診断は「国際頭痛分類（ICHD）」²⁾により明確な診断基準が定められており、それに従えば世界中で統一された診断が可能はずです。残念ながら一般医家の多くがこれを承知していないのが現状です。せっかく受診しても正しく「片頭痛」と診断されなければ自ずと有効な治療が受けられないことは明白です。

片頭痛はどうして起こるのか

「片頭痛がなぜ起こるのか」についてはかなり研究が進んでいますが、いまだにすべては解明されていません。しかし、感覚に関わる脳神経である三叉神経の終末から放出（分泌）されるCGRP（神経伝達物質の一つ）が片頭痛発症に深く関与していることが証明されています。

これまでの片頭痛治療

「片頭痛」に対する頭痛頓挫薬（頭痛薬）はトリプタンという薬が主体です。しかしながらトリプタンが効かない片頭痛患者も30～60%います。またトリプタンの効果が生じるまで1時間近くかかり、その効果も長続きしないことが問題とされています。さらに不快な副作用（胸や頸部のしめつけや眠気、倦怠感など）が生じたり、狭心症・心筋梗塞や脳梗塞の既往がある患者には用いることができないなどいくつかの制約があります。

そこで片頭痛発作発症を予防することを目的としたいいくつかの予防薬を併用しています。代表的なものとして抗てんかん薬の一つであるバルプロ酸や抗うつ薬の一つであるアミトリプチリンなどが挙げられます。しかし片頭痛患者は20代から40代の女性に多いことから、妊娠との関連や副作用により使用制限を受けることもあります。

新たな片頭痛治療薬の登場

2021年春に本邦では新たな片頭痛治療薬が登場しました。これは片頭痛発作を起こすキープレーヤーであるCGRPを標的として開発されたモノクローナル抗体製剤です。よって片頭痛発作の発症抑制効果を期待して用います（予防薬）。国内では3製剤（皮下注射剤）あり、いずれも驚異的な片頭痛日数の減少率を誇っています。その一方で副作用は注射部位疼痛など限定的であり、今後の片頭痛治療の大きな柱になるでしょう。

「たかが頭痛、されど頭痛」



つぐ脳神経外科・頭痛クリニック
院長 継 淳

頭痛治療における最近の大きな問題

最近、これまで効いていた頭痛薬（鎮痛剤）が効かなくなってきたと受診する患者が増えています。なかには薬が効かないので1回量を勝手に増やしたり頻回に服用している方もいます。その多くは「片頭痛」がベースにあり過去にひどい頭痛で苦しんだ経験から、痛くなりそうな予感がしたらすぐに頭痛薬を飲んだり、大切な用事の前に予防的に飲んでいることもみられます。すると徐々に脳は痛みに対して敏感になり、かつては気にならなかった軽い頭痛でもひどく感じてしまい、これからさらに痛くなるのではとの不安が大きくなり、ついつい頭痛薬を飲んでしまうという悪循環に陥ってしまいます。そしてついに頭痛薬を飲んでのに頭痛が治まらなくなるのです。このような頭痛を「薬剤の使用過多による頭痛（薬物乱用頭痛）」³⁾といいます。

「薬剤の使用過多による頭痛」に対しては、まずは原因薬剤の中止が重要です。ただし中止後の1～2週間は離脱症状（頭痛、悪心・嘔吐、睡眠障害、頻脈など）が発現し、なかなか断薬し続けるのがつらいです。よってこの頭痛から完全に回復できるのはごく少数です。言葉は過激ですが「麻薬中毒患者の薬物離脱」に似ています。そこでまずは「片頭痛」を正しく診断し、的確に治療して「薬剤の使用過多による頭痛」にこじらせないことがもっとも重要です。

片頭痛は脳梗塞の危険因子かも？

「片頭痛」をしっかり治療することは脳卒中予防にもつながります。すなわち片頭痛発作回数が脳卒中、とくに虚血性脳卒中（脳梗塞や一過性脳虚血発作など）に関連しているため、積極的に発作頻度の減少に努めることが重要です。^{3) 4)}

複数の疫学研究から、片頭痛患者全体では同年代の健常者に比較して虚血性脳卒中をきたす相対危険度が約2倍と報告されています。とくに45歳未満の若年女性における「前兆のある片頭痛」では虚血性脳卒中のリスクが若干増加し、さらに喫煙や経口避妊薬使用によりリスクは7～9倍にまで増加するとも言われています。ただしこの年齢層女性の虚血性脳卒中の年間発症絶対数は少ないので、「片頭痛」であることが単独で危険因子になるのかは結論に至っていません。しかしながら片頭痛患者では喫煙は避けるべきであり、経口避妊薬の使用も慎重な判断が必要であることは事実です。^{3) 4)}

おわりに

「片頭痛」は身近な疾患ですが、「片頭痛」もこじらせてしまうと大変な疾患につながる可能性があります。「たかが頭痛・されど頭痛」と言われる通り、適正な片頭痛診療が求められます。

【引用文献】

- 1) Sakai F, Igarashi H. Cephalalgia 1997;17:15-22
- 2) 国際頭痛分類第3版、2018
- 3) 頭痛の診療ガイドライン2021:125-130
- 4) 脳卒中治療ガイドライン2021:230-231



医療ソーシャルワーカーについて ～社会資源について相談しよう～

各種社会保障制度をはじめとした、社会資源を上手に活用できることで療養生活をサポートすることができます。事例をヒントに確認してみましょう。

事 例 50代単身男性、勤務中脳出血を発症し手術のため入院。遠方には高齢の母が一人暮らしで介護保険を利用しています。
ご本人が、安心して療養に専念するためにどんな工夫ができるでしょうか。

キーワード 医療費軽減、所得保障、介護保険、障害者制度、就労支援、単身者、身元保証

問 題 点 ●麻痺があり障がいが残る ●家族の支援が得られない ●職場復帰が困難 ●経済的困難

本人について

治療には、医療費（入院、通院）、お薬代、通院・入院時の交通費、差額ベッド代、食費、日用品、おむつの使用など経費がかかります。

診断されてから必要なお金の一部は、公的医療保険などで負担が軽減できる場合があります。

また、就業や収入の状況に合わせた支援制度も整備されています。

遠方の家族が保証人になれない場合、将来的に身元保証に関する制度（成年後見制度、地域福祉権利擁護事業など）も検討できます。「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン（厚生労働省ホームページ参照）」も出ています。ご確認ください。

母親へのサポートは、担当の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）や、お住まいの地区を担当する地域包括支援センター等へ相談してみましょう。

医療ソーシャルワーカー ワンポイントアドバイス

- 治療を安心して受けられるように、社会資源の活用をまず優先する
- 療養生活を守る、所得保障を受けられるか確認する
- 家族や社会背景を可能な範囲で把握し、サポートできることを確認する
- フォーマル資源（社会保障等）、インフォーマル資源（本人が持つ「人・物・お金」のサポート）をうまく活用する
- 年齢や疾病により利用できる社会資源も異なるので注意する**



具体的な諸制度についてご紹介します

医療費の負担を軽くする公的制度

目 的	制 度 名	窓 口 に つ い て
医療費の軽減	限度額適用認定証 高額療養費	加入している公的医療保険 （健康保険組合・協会けんぽ・国民健康保険・後期高齢者医療制度）の窓口 ※各医療保険のホームページより申請用紙確認可 ※適応となる条件、申請日なども確認しましょう ※会社の事務担当で相談できる場合もあります
税金の還付	医療費控除	住所地管轄の税務署

生活費などの助成や給付など

目 的	制 度 名	窓 口 に つ い て
退職時の所得保障	傷病手当金	各公的医療保険（協会けんぽ、健康保険組合等）窓口
治療で障害が残る可能性がある	障害年金 障害手当金（一時金）	年金事務所、年金相談センター、市区町村の国民年金担当窓口
	重度障害者医療	市区町村行政窓口（障害福祉、医療保険管轄など）
	身体障害者手帳	市区町村の行政窓口（障害福祉）
経済的支援を受けたい	生活福祉資金貸付制度	市区町村の社会福祉協議会
	生活困窮者自立支援制度 生活保護制度	市区町村の行政窓口

仕事のこと（就労支援）

目 的	制 度 名	窓 口 に つ い て
病気や障害があっても働きたい	ハローワーク （公共職業安定所） 産業保健総合支援センター	住所地所管 ※病気や障害を抱えた方の窓口もあります
仕事のこと、生活のことを相談したい	障害者就業・生活支援センター	障害者雇用促進法に基づいて、都道府県知事が指定した社会福祉法人やNPO

退院後の生活について

目 的	制 度 名	窓 口 に つ い て
日常生活支援	介護保険制度	市区町村の行政窓口（介護保険）
	障害者自立支援制度	市区町村の行政窓口（障害福祉） ※介護保険の被保険者は介護保険サービスが優先されます

★療養生活をささえるヒントについて一部ですがご紹介させていただきました。行政との連携や、制度が複雑になる場合もあるため、まずは医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会担当理事

そうだ！原点に戻ろう ～「学びたい」あなたの 気持ちに応えます～



公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター
主任専任教員 **相原 慎**

看護職として働く中で、もっと専門分野を深めたいと、卒後教育に興味を持つ方も多いのではないのでしょうか。私の勤務する実践教育センターは、現職者に向けたリカレント教育を実施する機関として、神奈川県立保健福祉大学に設置されています。そこで、私の看護教育に対する思いと実践教育センターについて説明をします。

学習者との相互性の中で共に成長する

私は看護専門学校での専任教員を経験し、現在は後進を育てるため、教員・教育担当者養成課程を担当しています。県内で唯一、厚生労働省の看護専任教員養成講習会の認定を受け、実施している研修です。本コースは、看護教員を目指す人のみならず、病院内の教育担当者としてのスキルアップを目指す方も多く受講されています。

皆さんは授業者の一方的な授業に退屈した経験はありませんか？私たちは学習者を中心に授業を考え、授業という場での相互性を大切にしています。

自身の学生時代を振り返ると、座学が苦手でした。けれど、授業を通して興味を持てたことを自ら追求することの楽しさも実感していました。

学生の興味や学ぶ力を引き出すような教育をすることは容易ではありませんが、日々の関わりを続ける中で変化が見えることが教員としての喜びです。また、学生を通して臨床と関わり続け、共に看護を考える相互性の中で自身も成長できることが教員の醍醐味です。

学習者を支援し、未来の看護を創る

学ぶとは、学習者自身が経験を意味づけることで完成するものです。それはまだ免許を持たない学生も、現職者も同じです。看護や教育はそれぞれの関係性の中にあり、多様で一回性のものだからこそ、それぞれの経験に寄り添った教育支援を心がけています。

教員という役割は、未来の看護を創る夢のある仕事です。学生の成長に携わることが何よりのやりがいだと感じています。

実践教育センターでのリカレント教育

実践教育センターで開講されている、教育課程と看護分野に関する主な研修を紹介します。

●教育課程（6～12か月継続して開講）

教員・教育担当者養成課程（看護コース／介護コース）
感染管理認定看護師教育課程
多職種連携推進課程
認定看護管理者教育課程（ファースト／セカンド／サード）
栄養ケア・マネジメント課程

コロナ禍の今、感染管理のエキスパートを目指し多くの現職者が受講しています。良質な医療を提供するため、施設の中心となって多職種と協働しながら、医療関連感染の予防と管理を推進する人材を育成しています。

また、地域連携の強化が求められている今、多職種連携のエキスパートを目指し受講されている方もいます。広い視野で保健・医療・福祉の総合的なサービスをマネジメントでき、リーダーシップの取れる人材の育成を目指しています。

様々な分野での現任者がともに集い、学び合うことでケアの質を向上させるための実践力を磨くことができる課程です。職種間の「連携・協働」を推進するためのスキルを深められるよう、学びを支援しています。

●看護分野に関する主な教育研修（短期間）

看護実習指導者講習会	(病院等) (保健・医療・福祉施設) 7日間
看護教員継続研修	
がん患者支援講座	
子ども虐待防止研修、子どもの食育支援研修	
高齢者の摂食嚥下障害支援研修	
医療安全管理者研修 <多職種対象>	
研究入門講座	

「学びたい」あなたへ

私たち教員は、コロナ禍であっても皆さんが学び続けることができるよう、オンライン授業などの工夫をしています。これからも皆さんの「学びたい」気持ちに応えていきます。お待ちしております。

●ホームページURL

<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>



スマホは
こちらから
どうぞ



授業風景



校舎外観

災害支援ナース特集 ②

神奈川県看護協会災害支援ナース

災害支援ナースと合同通信訓練

災害支援ナースは災害に備えて年2回通信訓練を行います。

9月に開催される神奈川県看護協会主催の合同通信訓練は、県内災害支援ナースが活動をする災害支援の対応区分レベル1（単独支援助）を想定して通信訓練を行います。訓練では災害支援ナースと神奈川県看護協会間で支援活動の是非に関したメールの送受信を行います。また、神奈川県看護協会が会員施設と協力し、被災状況や災害支援ナースの派遣要請数を把握して、災害支援ナースの派遣を決定していきます。実際と同様のメール文面や添付資料を用いて訓練するので、派遣先決定までの流れが経験できる機会となります。災害支援ナースを要請する施設側もイメージ化が図れる訓練だと考えます。

施設の被害状況報告や災害支援ナース要請資料は、神奈川県看護協会ホームページ>災害看護>災害時支援ネットワークシステム〔災害時のSOS！〕に掲載されています。非常時に備え、事前にダウンロードするなどお手元に用意してご利用してください。いざという時への備えをするための合同通信訓練です。

この他、日本看護協会が主催する災害レベル2・3を想定した災害訓練が11月に開催されますので、期日が近づきましたら、看護だよりで日程確認をお願いします。皆様のご参加をお待ちしております。

昨年、熱海市伊豆山土石流災害が地域に甚大な被害をもたらしたことはまだ記憶に新しいと思います。熱海市伊豆山土石流災害では、静岡県災害支援ナースが活動しました。また、令和2年のダイヤモンドプリンセス号への対応では、神奈川県の災害支援ナースが JMAT と共に船内で支援活動を行いました。

災害はいつも突然に、いろいろな顔でやってきます。被災した看護職の心身の負担を軽減し、被災者が健康レベルを維持できるよう災害支援ナースは活動します。

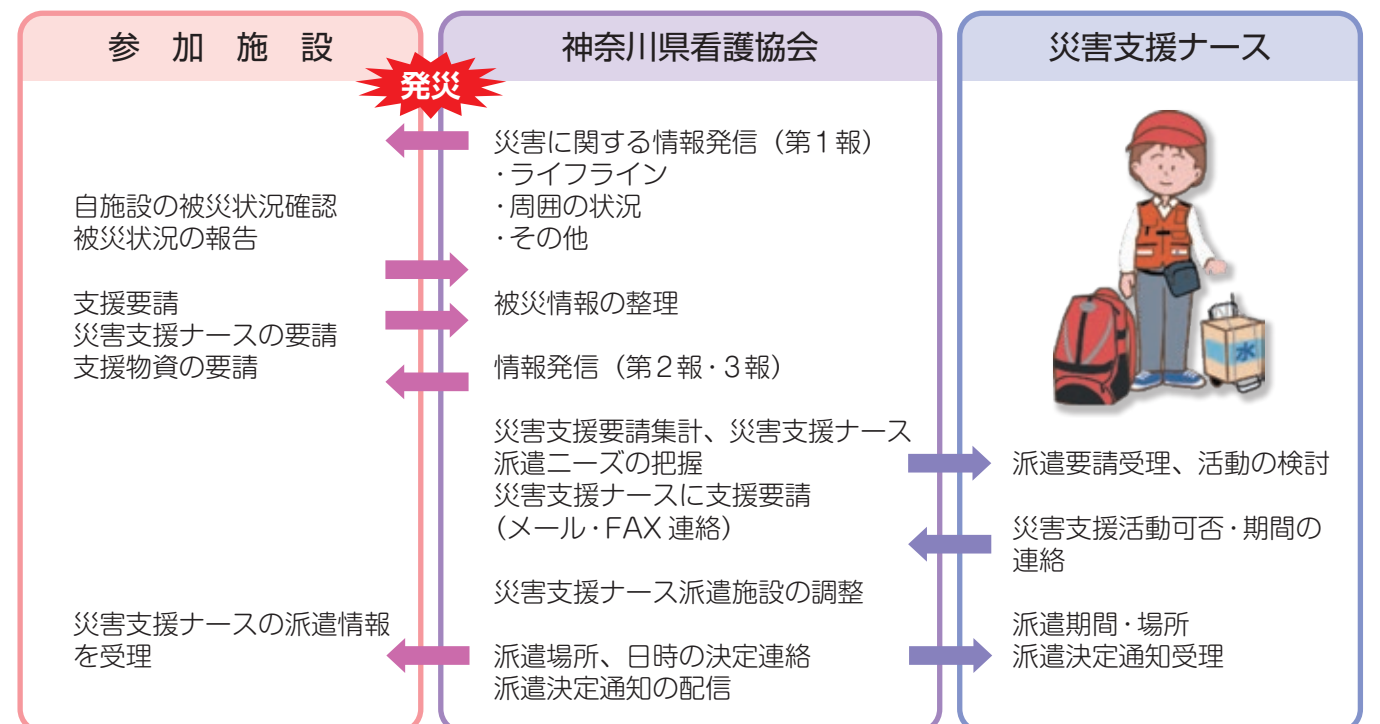
災害支援ナースの派遣！

災害支援ナースは、地震や水害などの自然災害やダイヤモンドプリンセス号のような感染症対策で緊急対応が必要な場合、災害対策基本法に基づき、行政の要請を受け神奈川県看護協会が派遣を決定します。

その際、災害支援の対応区分は、次のとおりです。

- ・レベル1（単独支援助）：神奈川県内
 - ・レベル2（近隣支援助）：関東甲信越の近隣都県
 - ・レベル3（広域支援助）：全国の都道府県
- レベル3 では、全国の災害支援ナースへ派遣要請をし、被災地での支援活動を依頼します。

災害支援ナース派遣依頼と派遣決定訓練



令和4年度 通常総会開催

職能団体として、看護職の人材確保と 資質向上、組織力を高めるとともに新たな課題に 積極的かつ柔軟に取り組んでいく



挨拶する長野会長

去る6月17日（金）県総合医療会館7階講堂において、令和4年度通常総会が開催されました。コロナ感染防止に考慮し、総会運営上必要不可欠な方のみでの参加となりましたが、申込をされた会員の方にはWebにて視聴いただけるようライブ配信を行いました。

令和4年度6月1日現在の総会員数は35,302名、委任状25,520名、参加者は50名でした。長野会長挨拶の後、令和3年度事業報告、将来構想策定委員会報告、令和4年度重点事業及び事業計画、令和4年度収支予算が報告されました。続いて、第一号議案「令和3年度決算（案）及び監査報告」の審議が行われ、採決の結果、満場一致で承認されました。

質疑応答では、研修の開催方法について、今後もZoomと会場によるハイブリッド形式で実施していく予定であること。協会の入会金について、新卒新採用者が入会しやすい対応を検討していくことが説明されました。第二号議案では「令和4年度役員の選出」が行われ、投票の結果、長場専務理事、布施助産師職能理事、牛丸横浜北支部理事、川上横浜西支部理事、辻村横浜南支部理事、伊藤横須賀支部理事、阿部相模原支部理事、小澤小田原支部理事、吉村県央支部理事 以上候補者9名全員が選任されました。



退任される旧役員の方々

令和4年度 役員紹介

※（再）＝再任 （新）＝新任



会長
ながの ひろただ
長野 広敬
神奈川看護協会



副会長
かつやま きみこ
勝山 貴美子
横浜市立大学
大学院医学研究科



副会長
わたなべ てるこ
渡邊 輝子
済生会横浜市東部病院



専務理事(再)
ながば なおこ
長場 直子
神奈川看護協会



常務理事
かどね みちえ
門根 道枝
神奈川看護協会



常務理事
すぎうら ゆみこ
杉浦 由美子
神奈川看護協会



保健師職能理事
おだ まちこ
小田 真智子
川崎市健康福祉局
地域包括ケア推進室



助産師職能理事(再)
ふせ あけみ
布施 明美
医療法人産育会
堀病院



看護師職能理事Ⅰ
よこた ひろこ
横田 弘子
東海大学医学部付属病院



看護師職能理事Ⅱ
ひらた ゆうこ
平田 祐子
介護老人保健施設
都筑ハートフルステーション



川崎支部理事
もろかわ のりこ
本館 教子
聖マリアンナ医科大学病院



横浜北支部理事(新)
うしまる なご
牛丸 良子
医療法人社団武蔵野会
牧野リハビリテーション病院



横浜西支部理事(新)
かわかみ じゅんこ
川上 純子
国家公務員共済組合連合会
横浜共済病院



横浜南支部理事(新)
つじむら ようこ
辻村 陽子
医療法人社団厚済会
グループ本部



横須賀支部理事(新)
いとう よしこ
伊藤 佳子
公益社団法人地域医療振興協会
横須賀市立うわまち病院



相模原支部理事(新)
あべ のりこ
阿部 徳子
JA 神奈川県厚生連
相模原協同病院



小田原支部理事(新)
おとすか ゆみこ
小澤 美紀
医療法人社団三喜会
鶴巻温泉病院



湘南支部理事
やまがuchi すみよ
山岡 澄代
茅ヶ崎市立病院



県央支部理事(新)
よしむら ゆきこ
吉村 由紀
医療法人鉄蕉会
亀田森の里病院



准看護師理事
たかはし ひさよ
高橋 ひさよ
医療法人財団明徳会
総合新川橋病院



監事
あおやま ゆうじ
青山 裕治
青山会計事務所



監事
さすき すみこ
鈴木 恵美子
横浜メディカルグループ本部

令和4年度 委員会名簿

職能委員会

●保健師職能委員会

田 真智子(保)
小佐藤 裕子(保)
岩井 八重子(保)
大磯 夫美子(保)
中野 祐子(保)
松坂 由香里(保)
小比田 協子(保)
中野 香央子(保)

●助産師職能委員会

布施 明美(助)
小林 奈苗(助)
小保方 加奈子(助)
諏訪 和美子(助)
土井 村和秀(助)
関 綾美(助)
関 保鈴(助)
関 菜緒(助)
岩田 光代(助)

●看護師職能委員会Ⅰ

横田 弘子(看)
浅野 隆由(看)
浅井 由紀子(看)
大久保 尚(看)
大久保 桂子(看)
吉田 里美子(看)
亀田 乃理子(看)
川中 亜沙美(看)

●看護師職能委員会Ⅱ

平河 祐子(看)
森田 朋子(看)
川田 真恵理(看)
池田 伊基智(看)
山森 智子(看)
大田 純子(看)
丹下 佳代子(看)
荒川 藤子(看)

●相模原支部

阿部 徳子(看)
梶浦 和裕(看)
高城 裕美子(看)
高城 晶子(看)
高城 麻利子(看)
高城 美保子(看)

●小田原支部

小田 澤地(看)
小引 真紀(看)

●横浜北支部

出田 真智子(看)
水嶋 幸子(看)
丸山 良子(看)
牛丸 美佳(看)
矢野 誠子(看)
山本 律子(看)
津野 春子(看)
長野 瑞美子(看)

●横浜西支部

川上 純子(看)
秋山 幸子(看)
新井 久美子(看)
山本 奈緒子(看)
櫻木 莉子(看)
内藤 さゆり(看)

●横浜南支部

辻村 陽子(看)
辻村 美穂(看)
小西 小百合(看)
中本 みゆき(看)
植田 幸子(看)
植田 貴子(看)

●横須賀支部

伊藤 佳子(看)
赤川 直子(看)
楠秋 歌子(看)
秋山 三恵子(看)
鈴木 美佐(看)
石大 美佐(保)

●相模原支部

阿部 徳子(看)
梶浦 和裕(看)
高城 裕美子(看)
高城 晶子(看)
高城 麻利子(看)
高城 美保子(看)

●小田原支部

小田 澤地(看)
小引 真紀(看)

●県央支部

内長谷 治子(看)
藤川 美香子(看)
谷川 治子(看)
米谷 子穂(看)
山岡 代子(看)
江崎 美子(看)
日下 純子(看)
井上 真智子(看)
北条 美子(看)
本城 志津子(看)
小田 志津子(看)
高宮 聖子(保)

●県央支部

吉村 由紀(看)
加藤 美子(看)
北藤 由里子(看)
岡本 美子(看)
小梅 光和子(看)
古西 直子(保)

●県央支部

内長谷 治子(看)
藤川 美香子(看)
谷川 治子(看)
米谷 子穂(看)
山岡 代子(看)
江崎 美子(看)
日下 純子(看)
井上 真智子(看)
北条 美子(看)
本城 志津子(看)
小田 志津子(看)
高宮 聖子(保)

●県央支部

吉村 由紀(看)
加藤 美子(看)
北藤 由里子(看)
岡本 美子(看)
小梅 光和子(看)
古西 直子(保)

●県央支部

内長谷 治子(看)
藤川 美香子(看)
谷川 治子(看)
米谷 子穂(看)
山岡 代子(看)
江崎 美子(看)
日下 純子(看)
井上 真智子(看)
北条 美子(看)
本城 志津子(看)
小田 志津子(看)
高宮 聖子(保)

●県央支部

吉村 由紀(看)
加藤 美子(看)
北藤 由里子(看)
岡本 美子(看)
小梅 光和子(看)
古西 直子(保)

●折川支部

折川 真澄(看)
毛由 美子(看)
五木 千佳(看)
坂元 佳紀(看)
高橋 会里子(看)
沼波 貞子(看)
星山 美穂(看)
前三 亜美子(看)
室井 弘子(看)
山本 照恵(看)

●広報出版委員会

輪馬 有美子(看)
相馬 和美子(看)
細川 恵子(看)
長谷川 由純子(看)
宇賀神 根由美子(看)
関竹 根由美子(看)
野村 香代(看)

●業務委員会

堀尾 美穂(助)
袖山 亜美(看)
山口 友子(助)
高山 睦和子(看)
岡田 真理(看)
近横 いぶき(看)
横溝 由佳(保)

●会員委員会

大野 容子(看)
下村 智香(看)
郡山 美希(看)
高谷 朱希子(看)
蒲谷 由美子(看)
高川 雪子(看)
西山 早苗(看)

●医療安全対策委員会

三上 久美子(看)
新安 美恵子(看)
大木 志歩(看)
鹿原 光代(看)
柴田 佳子(看)
井内 淑子(看)
井内 喜美子(看)

●災害救護対策委員会

石川 佳代子(助)

●神奈川看護学会運営委員会

馬源 根枝(看)
野平 節子(助)
方路 田恵理(看)
上坂 邦枝(助)
西崎 洋子(助)
樋口 取子(看)
三井 Pak 雅子(看)
佐藤 陽子(看)
杉山 恵一(看)
新三 啓太(看)
和田 樹(看)

●看護師教育検討委員会

津江 優紀(看)
櫻井 薫(看)
高橋 ひさよ(准)
大木 葉子(看)
高木 明子(看)
二宮 昭子(准)

●その他の会議等

●財政会議
長場 直子(看)
勝山 貴美子(看)
高橋 恵(看)
高橋 創一(事務)

●看護研究倫理審査会

長野 直子(看)
長場 直子(看)
門根 道枝(看)
杉浦 由美子(看)
宮芝 智子(看)
宮崎 美保子(看)

●認定看護管理者教育運営会議

高橋 恵(看)
原久 美子(看)
小山 智子(看)
平岡 澄子(看)
樋口 美佳(看)
門根 道枝(看)
藤波 富美子(助)
大村 喜美子(看)

(令和4年6月現在)

事業報告

重点事業

- 1 感染・災害発災時対策の充実
 - 1) 神奈川県・政令市等との連携体制構築の推進
 - 2) 災害支援ナース育成の推進
 - 3) 小規模施設・看護管理者への支援
- 2 時代のニーズに対応した継続教育の充実とキャリア支援の推進
 - 1) 看護管理者の育成と継続教育の充実
 - 2) 小規模施設、介護施設、クリニック等に勤務する新人から管理者までの継続教育及びクリニカルラダー推進への支援
- 3 地域包括ケア推進に携わる看護職の資質向上とその支援
 - 1) 医療機関から地域への円滑な利用者移行を推進するための看護職育成支援
 - 2) 介護施設や訪問看護領域で働く看護職の資質向上の充実
 - 3) 地域包括ケアの充実に向けた多職種連携の推進
- 4 看護職の働きやすい職場環境づくりへの支援と就業促進
 - 1) 職場環境改善に向けた神奈川県医療勤務環境改善センターとの連携推進
 - 2) 働きやすい職場環境づくりに向けた看護管理者研修の充実
 - 3) 看護職としてのキャリア継続支援の推進及び就職情報の充実

表内 ※中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動 1) 看護週間行事 (1) 看護フェスティバル 令和3年5月8日(土) みなとみらいクイーンズサークル 参加者数 延 540 名 (2) 「一日看護体験」事業 実施期間 令和3年5月1日～8月31日 参加者数 2,109 名 県内病院等実施施設 58 施設 2) 県民に対する広報活動の強化 (1) 広報出版委員会の開催 (2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年 6 回 計 216,800 部発行 配布先：病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載 (3) ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年 451,564 件（研修申込サイト除く） 2 県民のための健康相談及び知識の普及 1) 健康相談事業の充実 支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 県看護協会訪問看護ステーション 年 1 回×2 事業所 2) 訪問看護の普及啓発を目的とした「かながわ訪問看護フェスティバル」の開催 令和3年10月23日(土) 神奈川県総合医療会館7階 参加者数 延 90 名 3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 県民及び看護職を対象とした禁煙の推進 「スモークフリー推進かながわ基金」への拠出及び禁煙に関する委員会への参加 4) 県内の医療職に対する緊急情報の周知 (1) トピックス研修 年 1 回 テーマ「新型コロナウイルスワクチンセミナー(Web 研修)」 令和3年5月12日(水) ～ 令和4年1月31日 (2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)

II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業(定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容
1 訪問看護及び居宅介護支援事業 1) 訪問看護事業 医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援 (1) 訪問看護ステーション所長会議 年 12 回 (2) 訪問実績 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 14,788 件 あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市) 7,117 件 おいそ訪問看護ステーション(大磯町) 7,680 件 洋 光 台訪問看護ステーション(横浜市) 9,634 件 合計 39,219 件 2) 居宅介護支援事業 要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援 ケアプラン作成実績 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 662 件 おいそ訪問看護ステーション(大磯町) 637 件 合計 1,299 件 3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 (1) 利用者満足度調査 年 1 回 (2) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年 1 回 4) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業 年 2 回 5) 地域への活動 (1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 各訪問看護ステーション 月 2 回 / 年 24 回 (2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動 各訪問看護ステーションパンフレット作成 広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS 等の利用) (3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助) 同行訪問研修 新任または経験の少ない訪問看護師への研修 教育担当者への研修 6) 看護職員等の資質の向上 (1) 訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 各訪問看護ステーション 月 2～4 回 (2) 事例検討会 困難ケース等についての検討会 各訪問看護ステーション 年 3 回 (3) 研修への参加 訪問看護ステーション 年 2 回 7) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援 看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ 延 126 名/4 ステーション 8) 関係機関との連携 関係団体との連携及び会議等への参加 各訪問看護ステーション 年 10 回

III 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第4条第1項第3号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護における医療安全体制強化のための支援 1) 医療安全情報収集・情報発信 医療安全対策委員会 年 9 回 「医療安全情報」発行 年 3 回 4,100 部 配布先 病院等施設 2) 医療安全・感染研修 (1) 医療安全管理者養成研修 e ラーニング+オンライン 1 日 受講者 96 名 (2) 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 年 3 回 各 1 日 受講者 62 名 (3) 医療安全講演会 年 1 回 1 日 受講者 40 名 3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援 医療安全管理者情報交換と啓発活動 交流会 年 10 回

事業実施内容
4) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携 (2) 神奈川県 6 団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加 会議 年 1 回 書面会議 セミナー ※中止 5) 医療安全に関する相談・情報提供 (1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応 27 件 (2) 医療事故防止対策に関する広報 (3) 「医療安全情報」のホームページ掲載 (4) 医療安全推進週間の広報(11 月 25 日含む前後 1 週間) 2 災害時の看護支援活動の強化と普及 1) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携推進 ・日本看護協会災害担当者会議 年 1 回 ・都道府県看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加 年 1 回 3 日 災害支援ナース参加者数 118 名 (2) 県・市合同総合防災訓練への参加 ・県市合同総合防災訓練会議 ※中止 ・県市合同総合防災訓練 ※中止 (3) 県内関連施設との連携 県内関連施設との防災訓練 年 1 回 3 日 参加施設 20 施設 災害支援ナース参加者数 124 名 (4) 横浜市災害看護研修 年 2 回 各 1 日 ・横浜市災害支援ナース登録推進研修 受講者 38 名 ・横浜市災害支援ナースフォローアップ研修 受講者 30 名 2) 災害支援ナースの派遣 神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣準備 3) 災害への備え・広報活動 (1) 災害救護対策委員会 災害救護対策委員会 年 8 回 「災害時お役立ち情報」発行 年 1 回 3,000 部 配布先 県下全役所・役場、地域住民 「災害看護」発行 2,500 部 配布先 会員施設、災害支援ナース等 「災害支援ナースハンドブック(第 5 版)」発行 500 部 配布先 災害支援ナース (2) 災害支援ナースの携行物品の整備 ・災害支援ナース携行物品の消耗品の補充 (3) 災害看護研修の支援 ・インターネット配信研修(災害支援ナースの基礎知識) 年 2 回 各 2 日 第 1 回 受講者 67 名、第 2 回 受講者 63 名 ・災害看護マネジメント研修 年 1 回 2 日 受講者 60 名 ・災害支援ナース育成研修(災害看護実務編) 年 2 回 各 2 日 第 1 回 受講者 43 名、第 2 回 受講者 45 名 ・災害看護基礎研修 学んでみよう災害看護 年 2 回 各 1 日 第 1 回 受講者 71 名、第 2 回 受講者 62 名 (4) 災害支援ナース登録推進 ・災害支援ナースフォローアップ研修 令和 4 年 2 月 28 日(月) 受講者 61 名 対象者：災害支援ナース登録者 ・災害支援ナース全員に災害看護冊子、災害支援ナースハンドブック(第 5 版)を送付 ・災害支援ナース募集チラシを災害支援ナース全員に送付、周知依頼 (5) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発 ・看護フェスティバル等でリーフレット配布、動画映写 ・県内全役所・役場 58 ヲ所にチラシ配布 ・出前講座 ※中止 3 新型コロナウイルス感染症対策特別班 感染対策における知識の普及と予防活動への支援 1) 小規模施設の感染予防対策の充実 認定看護師による出張相談 8 回

事業実施内容
2) 感染管理研修 年 1 回 半日 受講者 91 名 3) 新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口 54 件 4) 神奈川県との共同事業・委託事業 小規模施設 研修・マニュアル作成 ワクチンセミナー(Web 研修) 視聴者 2,572 名 臨床懇談会の開催 5) 県民対象とした感染防止についての知識の普及と啓発 ・感染防止対策研修 31 施設 参加者数 1,081 名 ・看護フェスティバルでの感染相談 ・「わかりやすい感染対策について等」 ホームページへの情報掲載

Ⅳ 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第 4 条第 1 項第 4 号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護職の資質向上の支援 1) 継続教育の推進 (1) 看護実践能力研修 年 28 回 延 35 日 延受講者 1,421 名 (2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修年 14 回 延 19 日 延受講者 742 名 (3) 200 床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象：新人看護師) 全 1 日間 受講者 57 名 (4) 200 床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象：中堅看護師) 全 7 日間 受講者 10 名 (5) 200 床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象：看護管理者) 全 6 日間 受講者 5 名 (6) 研修運営事業 「教育計画」タブロイド判作成 48,000 部 (7) オープンセミナー 病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開 実施施設 21 施設 延 179 研修(※うち中止 31 研修) 参加者延 1,679 名＋α(参加人数不明研修あり) (8) 教育計画・事業(案)説明会 年 1 回 参加アカウント数 (Zoom)：71 2) 新人看護職員研修の充実 (1) がんばれ！新人ナース!! 年 1 回 受講者 547 名 3) 看護研究の充実 (1) 神奈川看護学会の開催 令和 3 年 11 月 27 日(土) パシフィコ横浜アネックスホール 来場者 380 名 ・運営委員会 年 4 回 ・査読会議 年 1 回 ・看護研究奨励賞選考会議 年 1 回 (2) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 1 グループ 4) 教育企画運営に向けての支援 (1) 教育研修委員会 (2) 准看護師教育検討委員会 2 看護職の活動の充実 1) 職能における研修等 2) 支部における研修等 3) 看護職員の就業環境改善の促進 (1) 業務委員会 (2) 社会経済福祉委員会 3 地域看護の推進と拡充 1) 地域看護の質向上と推進 (1) 訪問看護の推進 訪問看護ステーション一覧の作成 2,000 部 配布先:訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載 (2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置 訪問看護等に関する相談、助言 月～金 年 190 件

事業実施内容			
2) 地域看護の質向上に関する研修			
(1) 地域看護における看護職員の育成			
・訪問看護入門研修会	年 5 回 2 日	受講者 延 145 名	
・訪問看護師養成講習会	年 1 回 10 日＋e ラーニング	195 時間相当	
		受講者 59 名	
・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会	年 1 回 3 日	受講者 45 名	
・地域連携のための相互研修会	年 2 回 3 日	受講者 110 名	
・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル)	年 1 回 3 日	受講者 47 名	
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生対象)		受講者 409 名	
(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立			
・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル)	年 1 回 3 日	受講者 49 名	
・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	年 1 回 11 日	受講者 58 名	
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象)	年 2 回 1 日	受講者 63 名	
・高齢者の終末期看護研修(ELNEC-JG)	年 1 回 2 日	受講者 35 名	
(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成			
・訪問看護ステーション管理者研修会	年 2 回 1 日	受講者 延 98 名	
・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	年 1 回 3 日	受講者 56 名	

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第 4 条第 1 項第 5 号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護職員確保定着対策の推進			
1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所)			
(1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供			
求人相談	年 3, 653 件、求職相談	年 9, 670 件	
(2) 第 6 次 NCCS の運用			
就職数	年延 1, 137 件		
(3) 相談員の質の向上	相談員学習会	年 2 回	
2) 届出制度の促進及び支援事業			
(1) 届出制度の普及	届出数：6, 258 人		
(2) 届出者の情報管理	就職・研修等の情報提供	1 回以上/月	
3) ハローワーク・ナースセンター連携事業			
(1) 労働局・公共職業安定所との連携			
・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換			
・巡回相談の実施	月 1 回 7 か所	面談者 154 人	
・運営及び情報共有の会議	連絡調整会議の開催	年 1 回、求人・求職の情報共有	
・相談会等への相談員の派遣	連携した相談・見学会の実施	年 1 回	
・連携セミナーの開催	セミナー回数	4 回 参加者 62 名	
4) 広報活動及び情報提供事業			
(1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布(※リーフレットリニューアル)			
未就業看護職・施設等への配布	3, 000 部		
(2) 看護学生・教員への周知			
卒業年度学生へ「はたさぼ」配布	43 校 3, 280 部		
(3) 年報の発行	200 部	配布先：行政機関等 91 か所	
(4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVD の貸出(館内・館外)	利用件数	年 42 件	
(※新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限あり)			
(5) ナースセンターホームページによる広報の強化			
求人・求職登録増にむけた内容修正	随時		
(6) 講師派遣	高等学校 3 校 看護専門学校等 3 校	日本看護学会学術集会 2 日	
5) 関係機関との連携・会議			
(1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携	通年 / 随時		
(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携			
・福祉施設等就職相談会等への協力・後援			
福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力			

事業実施内容			
(3) 会議			
・看護職員確保対策連絡協議会	年 1 回		
・ナースセンター事業運営会議	年 1 回		
・ナースセンター連絡会議	年 1 回		
・都道府県ナースセンター事業担当者会議	年 1 回 (Zoom)		
・都道府県ナースセンター地区別意見交換会	年 1 回		
6) 看護職員の定着を図るための相談事業			
就業者の就業相談の実施	相談内容の分類と分析/通年		
7) 研修支援事業			
(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」			
	年 5 回 各回定員 30 名	受講者 144 名 就業者数 19 名	
(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」			
	定期開催：年 4 回 定員 24 名	受講者 23 名 定着数 14 名	
	追加開催(1 月～3 月)：期間中 6 回 定員 72 名	受講者 73 名	
(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」			
	定員 60 名 応募者 30 名	受講者 23 名 (オンデマンド 18 人、会場 5 人)	
8) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務			
(1) ワクチン接種研修受講者	応募 500 名	受講者 418 名	
(2) 新型コロナウイルスワクチンセミナー動画視聴者		2, 572 名	
(3) 就業準備金申請者	2, 063 名		
2 看護に関する普及啓発事業の充実			
1) 進路相談事業	通年 相談件数：52 件/年		
2) 看護フェスティバル開催への協働			
看護フェスティバルでの進路相談	65 名		
3) 一日看護体験の案内	期間 5 月 1 日～8 月 31 日	協力施設 58 施設 / 2, 109 人	
4) 看護の仕事の普及啓発			
若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発			
「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布	中学・高校へ 687 校		

VI 会員に対する支援事業(定款第 4 条第 2 項第 1 号 収益事業)

事業実施内容			
1 会員に対する情報提供等事業			
1) 職能委員会における情報提供等			
2) 支部における情報提供等			
2 会員に対する福利厚生事業			
1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進	加入者数	8, 745 名	
2) 表彰			
3) 神奈川県看護協会指定店事業	指定店	約 300 店舗	
4) 会員の慶弔等への対応	弔慰金支給	13 件	
5) 会員相互の親睦を深める機会の充実			
・会員交流会 ※中止	・新春のつどい ※中止		
6) お年玉プレゼント(広報出版委員会)	当選者	46 名	
7) 会員サポート事業			
3 会員に対する研修支援事業			
1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援			
(1) 認定看護管理者教育課程事業			
・認定看護管理者教育課程運営会議	定例会	年 3 回	
・ファーストレベル	研修期間	令和 3 年 5 月 7 日～ 令和 3 年 8 月 27 日	受講者 65 名
・セカンドレベル	研修期間	令和 3 年 10 月 1 日～ 令和 4 年 2 月 25 日	受講者 40 名
・ファーストレベルフォローアップ研修	年 1 回	受講者 32 名	
・セカンドレベルフォローアップ研修	年 1 回	受講者 32 名	
・セカンドレベル修了者交流研修	年 1 回	受講者 22 名	
・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	年 1 回	受講者 46 名	

事業実施内容
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修 年9回 延11日 延受講者474名(※中止1研修)
(3) 医療安全管理者養成研修 年1回 eラーニング(41時間20分)・集合研修 1日 受講者96名

Ⅶ 法人の管理に関する事業(定款第4条第2項第2号 法人管理事業)

事業実施内容
1 職能団体としての組織・運営強化
1) 諸会議の開催
(1) 通常総会 令和3年6月18日(金)
(2) 理事会 定例理事会 5回 臨時理事会 2回
(3) 事業説明会 年1回
(4) 財政会議
(5) 新聞への広告掲載 年2回
2) 日本看護協会との連携
(1) 通常総会への参加 令和3年6月9日(木) 開催地：幕張メッセ（千葉県） 代議員は出席せず議決権行使書を提出
(2) 全国職能集会への参加 令和3年6月10日(金) 開催地：幕張メッセ（千葉県）
(3) 地区別法人会員会（関東甲信地区）の開催 令和3年10月7日(木)、8(金) 開催地：日本看護協会 JNA ホール Web 配信
(4) 関東甲信地区支部役員等研修会への参加 ※中止
3) 公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用
4) 事務局機能の整備・充実
(1) 事務局情報通信システムの運用・管理
(2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加 事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、学会参加 年5回
5) 委員会
(1) 推薦委員会
(2) 会員委員会
(3) 看護研究倫理審査会 年1回
2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進
1) 神奈川県・県議会への要望活動 年2回
2) 神奈川県との連携 地域医療の神奈川モデル事業 中郡内新型コロナウイルス感染者のサポート業務
3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進



貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	605,347,139	641,447,033	△ 36,099,894
未収金	98,040,080	90,854,181	7,185,899
前払金	4,361,544	4,856,086	△ 494,542
立替金	23,374	76,448	△ 53,074
流動資産合計	707,772,137	737,233,748	△ 29,461,611
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	382,585,107	394,971,693	△ 12,386,586
基本財産合計	485,385,880	497,772,466	△ 12,386,586
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	1,303,800	8,478,800	△ 7,175,000
退職給付引当資産	97,162,005	91,129,049	6,032,956
資産取得積立資産	787,749,106	762,587,808	25,161,298
建物建替積立資産	306,994,524	294,695,215	12,299,309
特定資産合計	1,193,209,435	1,156,890,872	36,318,563
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3	3	0
什器備品	1,230,395	1,858,396	△ 628,001
ソフトウェア	12,391,440	6,324,480	6,066,960
敷金	1,702,200	1,702,200	0
保証金	5,633,202	5,622,702	10,500
その他固定資産合計	20,957,240	15,507,781	5,449,459
固定資産合計	1,699,552,555	1,670,171,119	29,381,436
資産合計	2,407,324,692	2,407,404,867	△ 80,175
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,695,733	30,127,773	△ 4,432,040
前受金	211,769,280	205,203,000	6,566,280
預り金	5,758,134	4,182,572	1,575,562
役員賞与引当金	1,219,000	1,219,000	0
賞与引当金	13,769,000	13,622,000	147,000
流動負債合計	258,211,147	254,354,345	3,856,802
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	1,303,800	8,478,800	△ 7,175,000
退職給付引当金	97,162,005	91,129,049	6,032,956
固定負債合計	98,465,805	99,607,849	△ 1,142,044
負債合計	356,676,952	353,962,194	2,714,758
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	2,050,647,740	2,053,442,673	△ 2,794,933
(うち特定資産への充当額)	485,385,880	497,772,466	△ 12,386,586
	1,007,417,110	982,255,812	25,161,298
正味財産合計	2,050,647,740	2,053,442,673	△ 2,794,933
負債及び正味財産合計	2,407,324,692	2,407,404,867	△ 80,175

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	214,474	247,557	△ 33,083
特定資産受取利息	214,474	247,557	△ 33,083
受取入会金	51,940,000	63,040,000	△ 11,100,000
受取入会金	51,940,000	63,040,000	△ 11,100,000
受取年会費	228,837,000	228,888,000	△ 51,000
受取会費	228,837,000	228,888,000	△ 51,000
事業収益	468,250,301	432,491,319	35,758,982
受講料等収益	35,945,896	22,390,576	13,555,320
受託事業資料代収益	1,631,000	1,105,500	525,500
参加費収益	1,151,000	1,260,000	△ 109,000
訪問看護事業収益	413,765,725	392,772,830	20,992,895
療養費収益	133,511,440	130,233,563	3,277,877
介護保険収益	272,210,951	253,804,461	18,406,490
休日訪問等収益	2,079,500	2,199,400	△ 119,900
その他利用収益	5,963,834	6,535,406	△ 571,572
居宅介護支援事業収益	15,756,680	14,962,413	794,267
受取補助金等	94,125,677	96,820,920	△ 2,695,243
受取神奈川県補助金等収益	60,943,351	74,351,686	△ 13,408,335
ナースセンター事業受託収入	51,362,000	51,449,000	△ 87,000
看護研修事業受託収入	1,290,740	1,181,840	108,900
訪問看護導入研修受託収入	1,471,000	1,432,000	39,000
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,420,001	1,430,000	△ 9,999
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	856,000	856,000	0
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,560,000	1,560,000	0
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	0	13,807,124	△ 13,807,124
看護師管理能力養成研修事業受託収入	748,610	748,610	0
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	620,000	577,112	42,888
訪問看護ステーション教育支援事業受取補助金	1,200,000	1,200,000	0
新型コロナウイルス感染予防動画制作業務受託収入	0	110,000	△ 110,000
新型コロナウイルスワクチンセミナー事業受取補助金	30,000	0	30,000
感染症対策マニュアル作成等支援事業受託収入	385,000	0	385,000
受取横浜市補助金等収益	3,433,550	3,170,326	263,224
訪問看護師研修会事業受託収入	1,120,370	1,120,370	0
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,582,560	1,583,000	△ 440
災害支援ナース研修事業受託収入	180,620	125,956	54,664
看護職員復職後フォローアップ研修事業受託収入	550,000	341,000	209,000
受取川崎市補助金等収益	567,000	567,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	567,000	567,000	0
受取相模原市補助金等収益	1,015,235	1,015,108	127
ナースセンター事業受取補助金	1,015,235	1,015,108	127
受取日本看護協会補助金等収益	21,680,741	15,561,800	6,118,941
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,278,620	10,246,630	31,990
会員登録事務業務受託収益	5,874,580	5,315,170	559,410
新型コロナワクチン接種人材確保業務受託収入	3,719,801	0	3,719,801
新型コロナウイルス広域人材調整事業受託収入	488,804	0	488,804
新型コロナウイルス潜在看護職研修事業受託収入	734,868	0	734,868
新型コロナウイルス離職防止相談事業受託収入	584,068	0	584,068
受取団体助成金等収益	6,485,800	2,155,000	4,330,800
団体助成金収入	5,024,800	693,000	4,331,800
安全・安心な横浜MICE開催支援助成金	1,461,000	1,462,000	△ 1,000
受取負担金	42,590	0	42,590
受取負担金	42,590	0	42,590
受取寄付金	5,391,370	4,540,000	851,370
受取寄付金	2,031,370	1,540,000	491,370
協賛金収益	3,360,000	3,000,000	360,000
かながわ看護フェスティバル	3,360,000	3,000,000	360,000
雑収益	2,103,920	5,082,354	△ 2,978,434
受取利息	8,897	34,754	△ 25,857
その他の雑収益	2,095,023	5,047,600	△ 2,952,577
経常収益計	850,905,332	831,110,150	19,795,182
(2) 経常費用			
事業費	804,794,124	764,274,657	40,519,467
役員報酬	24,649,551	24,570,150	79,401
給料手当	467,447,932	456,123,212	11,324,720
臨時雇賃金	370,000	3,363,950	△ 2,993,950
役員賞与引当金繰入額	1,038,000	886,000	152,000
賞与引当金繰入額	13,491,000	13,167,000	324,000
役員退職慰労引当金繰入額	731,040	1,693,255	△ 962,215

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付費用	14,470,982	0	14,470,982
法定福利費	74,405,377	73,045,303	1,360,074
福利厚生費	1,190,303	1,656,389	△ 466,086
会議費	394,855	447,966	△ 53,111
旅費交通費	5,276,640	4,977,568	299,072
広告宣伝費	1,068,672	180,180	888,492
通信運搬費	16,468,838	15,277,410	1,191,428
減価償却費	13,393,996	11,439,967	1,954,029
消耗什器備品費	1,926,890	2,156,239	△ 229,349
消耗品費	15,574,297	14,044,448	1,529,849
修繕費	585,711	369,922	215,789
印刷製本費	20,210,357	20,284,454	△ 74,097
燃料費	1,926,174	1,447,930	478,244
光熱水料費	2,672,356	2,323,579	348,777
賃借料	40,045,164	38,465,707	1,579,457
支払リース料	21,230,418	22,018,682	△ 788,264
保険料	2,435,342	2,608,552	△ 173,210
諸謝金	20,387,861	15,720,594	4,667,267
租税公課	6,254,032	7,466,265	△ 1,212,233
支払手数料	2,602,304	1,502,267	1,100,037
支払負担金	15,704,200	14,660,292	1,043,908
支払寄付金	0	47,761	△ 47,761
委託費	18,608,650	14,147,123	4,461,527
雑費	233,182	182,492	50,690
管理費	48,906,140	48,976,852	△ 70,712
役員報酬	5,785,267	5,873,930	△ 88,663
給料手当	5,534,874	6,643,221	△ 1,108,347
役員賞与引当金繰入額	181,000	333,000	△ 152,000
賞与引当金繰入額	278,000	455,000	△ 177,000
役員退職慰労引当金繰入額	182,760	65	182,695
退職給付費用	564,358	34,338	530,020
法定福利費	3,401,309	3,458,189	△ 56,880
福利厚生費	3,080,775	2,899,130	181,645
会議費	152,401	178,092	△ 25,691
旅費交通費	511,620	604,070	△ 92,450
広告宣伝費	110,000	110,000	0
通信運搬費	3,767,229	3,371,517	395,712
減価償却費	3,740,730	3,742,725	△ 1,995
消耗什器備品費	644,040	973,098	△ 329,058
消耗品費	1,244,009	310,479	933,530
修繕費	10,340	0	10,340
印刷製本費	1,742,279	2,823,191	△ 1,080,912
光熱水料費	26,174	26,058	116
賃借料	2,083,686	1,722,468	361,218
支払リース料	439,383	932,316	△ 492,933
保険料	218,010	216,210	1,800
諸謝金	1,430,320	1,353,700	76,620
租税公課	1,169,385	2,288,543	△ 1,119,158
支払手数料	875,093	862,244	12,849
支払負担金	7,935,227	5,035,922	2,899,305
支払助成金	55,000	55,000	0
委託費	3,545,547	4,640,154	△ 1,094,607
雑費	197,324	34,192	163,132
経常費用計	853,700,264	813,251,509	40,448,755
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,794,932	17,858,641	△ 20,653,573
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,794,932	17,858,641	△ 20,653,573
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	1	0
経常外費用計	1	1	0
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,794,933	17,858,640	△ 20,653,573
一般正味財産期首残高	2,053,442,673	2,035,584,033	17,858,640
一般正味財産期末残高	2,050,647,740	2,053,442,673	△ 2,794,933
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,050,647,740	2,053,442,673	△ 2,794,933

財産目録

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	1,088,257
	普通預金			298,475,315
	共通・新会費 横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	76,915,932
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	39,554,097
	公益・受講料	横浜銀行関内支店	運転資金として	3,472,720
	公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店	運転資金として	33,525
	公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店	運転資金として	1,050,000
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	41,895,804
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	10,044,019
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	74,148,423
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	547,877
	かがやきＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	11,679,610
	かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	293,393
	かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,724,933
	あかしあＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	5,352,885
	あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	626,873
	おおいそＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	7,942,529
	おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	570,385
	おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,189,624
	洋光台ＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	11,287,013
	洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	145,673
	定期預金			305,783,567
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	91,932,362
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	26,105,489
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	50,692,848
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	122,894,633
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	14,158,235
	未収金		訪問看護療養費、県・市受託金等	98,040,080
	前払金		家賃、駐車場代、会場予約金等	4,361,544
	立替金		日本看護協会通常総会経費等	23,374
流動資産合計				707,772,137
(固定資産)	基本財産			
	土地	横浜市中区富士見町3番地1 (地積246.57㎡) (地積158.29㎡) (地積52.77㎡) (地積35.51㎡)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (70,110,127円) 収益事業等の用に供している (17,887,334円) 管理運営の用に供している (14,803,312円)	102,800,773
	建物			
	建物(一般)	神奈川県総合医療会館 (5階の一部及び6階)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (241,274,676円) 収益事業等の用に供している (80,424,892円) 管理運営の用に供している (54,117,683円)	382,585,107 375,817,251
	建物附属設備		公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	5,931,259
	造作	清康社ビル研修室 あかしあ訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	836,597
	特定資産			
	役員退職慰労引当資産	普通預金(横浜銀行県庁支店)		1,303,800
	退職給付引当資産	普通預金(横浜銀行県庁支店)		97,162,005
	資産取得積立資産		研修センター取得に備えたもの (公益目的資産取得資金)	787,749,106
		神奈川県債		530,000,000
		普通預金(横浜銀行県庁支店)		257,749,106
	建物建替積立資産			306,994,524
		神奈川県債		170,000,000
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (109,140,000円) 収益事業等の用に供している (36,380,000円) 管理運営の用に供している (24,480,000円)	
		普通(横浜・県庁支店)		136,994,524
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (88,351,688円) 収益事業等の用に供している (29,076,391円) 管理運営の用に供している (19,566,445円)	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金	額
その他固定資産	車両運搬具	訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している		3
	什器備品	訪問看護ステーション、事務所付帯設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (65,813円)	1,230,395	
	ソフトウェア	県総合医療会館 6 階事務室	管理運営の用に供している (1,164,582円)	12,391,440	
	敷金	訪問看護ステーション、コルニッシュ横浜	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (7,648,080円)	1,702,200	
	保証金	清康社ビル、訪問看護ステーション	管理運営の用に供している (4,743,360円)	5,633,202	
固定資産合計				1,699,552,555	
資産合計				2,407,324,692	
(流動負債)	未払金	公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	居宅介護費用振替額等 (17,637,023円) 弔慰金等 (14,345円) 令和元年度退職手当等 (12,476,405円)		25,695,733
	前受金		公益目的事業及び管理運営の支出に供する会費の前受	211,769,280	
				209,184,000	
	次年度会費		公益目的事業に計上する協賛金の前受	1,050,000	
				1,535,280	
	次年度協賛金	かながわ看護フェスティバル協賛金	収益事業等に計上する受講料の前受	5,758,134	
				691,798	
	受講料	令和 4 年度研修受講料		1,112,274	
				1,066,504	
	預り金	令和 4 年 3 月分		1,708,100	
				937,000	
	健康保険料	〃		58,649	
				7,422	
	厚生年金保険料	〃		176,387	
				1,219,000	
	源泉所得税	〃		1,038,000	
				181,000	
	市・県民税	〃		13,769,000	
				13,491,000	
会費	返金用		278,000		
報償費等所得税	令和 4 年 3 月講師報償税				
交通費日当	日本看護協会主催会議				
その他	会費送金等				
役員賞与引当金	令和 3 年度負担額				
事業費	〃				
管理費					
賞与引当金	令和 3 年度負担額				
事業費	〃				
管理費					
流動負債合計				258,211,147	
(固定負債)	役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額			1,303,800
					97,162,005
固定負債合計				98,465,805	
負債合計				356,676,952	
正味財産				2,050,647,740	

理事会報告

第1回 | 令和4年5月14日(土)

I 審議事項

- 令和4(2022)年度公益社団法人神奈川県看護協会通常総会について 承認
- 令和4(2022)年度公益社団法人神奈川県看護協会改選役員候補者について 承認
- 令和4(2022)年度職能委員・支部委員・常任委員について 承認
- 令和3(2021)年度事業報告(案)について 承認
- 令和3(2021)年度決算報告書(案)及び監査報告書について 承認
- 令和4(2022)年度事業計画・予算(案)の変更について(ナースセンター関連) 承認
- 公益社団法人神奈川県看護協会個人情報保護等管理規程の改訂について 承認
- 各委員会、支部定例会等の日当について(旅費の規程の一部変更) 承認
- 公益社団法人神奈川県看護協会講師謝礼金等支払い規程の改訂について 承認
- 公益社団法人神奈川県看護協会支部運営規程の改訂について 承認

II 協議事項

- 一斉発送について 承認
- 職能委員会の委員数について 承認
- 寄付金について 承認

III 報告事項

- 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 日本看護協会理事会・法人会員会について(5/12)
 - 公益社団法人神奈川県看護協会将来構想策定委員会報告書
 - 令和5(2023)年度神奈川県への行政要望について
 - 認定教育課程・学会・研修等について
 - かながわ看護フェスティバル2022実施報告について
 - 令和4(2022)年度神奈川県看護協会職員体制について
 - 支部研修に係る業務及び事務局支部担当者について
 - 令和3(2021)年度日本看護協会代議員研修会について
 - 非常勤事務職の時給の変更について
 - 相模原支部 日看協看護業務効率化試行支援事業中間報告
- 職能・支部理事報告

IV その他

- 災害支援ナースより
- 参考資料について
- 新型コロナワクチン追加接種(4回目接種)の体制について



看護の日・看護週間事業

看護の日・看護週間とは…

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されました。この日を含む週の日曜日から土曜日までが看護週間です。

かながわ看護フェスティバル2022開催！

5月7日（土）、みなとみらいのクィーンズスクエア横浜に於いて『かながわ看護フェスティバル2022』が開催されました。
新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年、一昨年は規模を縮小しましたが、今年は感染者数が減少傾向となり、コロナ前と同様の企画を午後のみで行いました。3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィーク中に開催されたため、延べ1,417名の来場者で賑わいました。看護の日になんで行われた看護フェスティバルは、看護職の日ごろの活躍を一般の方に知っていただくよい機会になりました。



来場の皆さんから
看護師の方々への応援メッセージ

コロナ禍の
看護エピソード紹介

コロナで頑張る看護師への応援メッセージをハート型の付箋にしたためて、ボードへ貼ってもらいました

特に人気が集まった『コロナ禍の看護エピソード紹介』で、幅広い年齢層の方々が、ポスターの前で足を止め熱心に見ていました

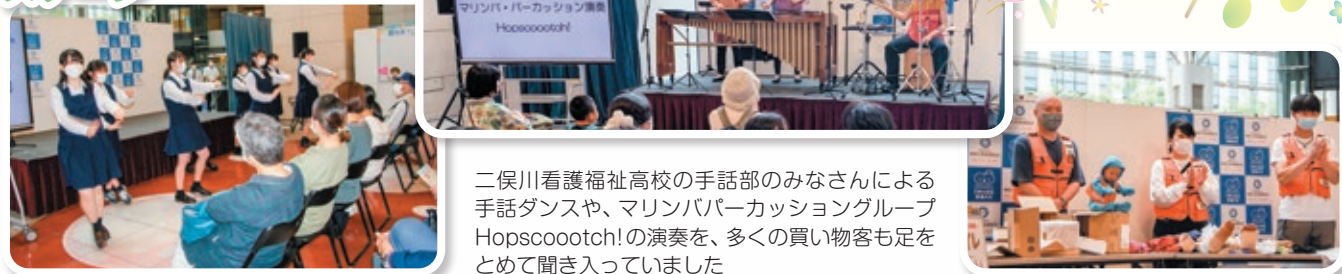
進路・復職相談コーナー 訪問看護Q&Aコーナー

災害時お役立ち 情報コーナー

段ボールトイレ体験に若い女性グループやカップルの方々がチャレンジし、災害対策への関心を寄せていました

制服姿の高校生が友達や親御さんとともに多く訪れ、高齢化社会に役立つ職業として看護の道に進みたいという希望をもって熱心に説明を聞いていました

ステージ



二俣川看護福祉高校の手話部のみなさんによる手話ダンスや、マリンバパーカッショングループHopscoootch!の演奏を、多くの買い物客も足をとめて聞き入っていました

公益社団法人 神奈川県看護協会 主催事業

サンリオピューロランド

期間

2022年7月1日(金)～
8月31日(水)までの平日に限り
※カレンダー内の土・日・祝と8/11～16は除く
(7月6日、7日、13日、14日は休館日のため除く)

無料ご招待

2022年度の
会員様と
そのご家族が
対象です

入場+アトラクションのパスポートチケットが5名様無料

サンリオピューロランドでは、パーク内のキャパシティ制限を行うため、
事前にご来場日の予約が必要となります。
詳しくは、サンリオピューロランド公式ホームページでご確認ください。

お問い合わせ

サンリオピューロランド
ゲストセンター
(9:30～17:00休館日除く)

042-339-1111

ピューロランドホームページ

www.puroland.jp



2022年 7月 JULY							2022年 8月 AUGUST						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31			
31													

※掲載されている写真はイメージです。※ここに記載されております内容については予告なく変更する場合がございます。
※イベント中止の場合は神奈川県看護協会ホームページへ掲載いたします。※必ず神奈川県看護協会のホームページをご確認のうえお申し込みください。(2022/3 現在) © 2022 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN

公益社団法人
神奈川県看護協会
会員専用

サンリオピューロランド利用申請書

※必ず下記の項目をご記入ください。※2022年7月1日～2022年8月31日までの平日のみ有効(土日祝日・休館日および8月12日、15日、16日は除外日)

265C

コピー可

ご利用日	月	日	ご利用者合計数(3才以上)	名様
会員番号	会員氏名			
同伴申請者 (3才以上の方) 2才以下のお子様は 無料となりますので 記入不要です。 ●会員番号は会員様 のみご記入ください。	氏名	氏名	氏名	氏名
会員様の居住地区を ご記入ください。	市・町・村			区

「電子会員証」はキャリアナースの登録が必須です！

※プラスチックの永年会員証では、現在の入会の証明となりません。
※事前にキャリアナースへのご登録の上、「電子会員証」の提示方法をご確認ください。
※ご登録方法等については、下記のQRよりキャリアナース登録案内をご確認ください。
※ご不明な点がございましたら、神奈川県看護協会へご連絡ください。
TEL:045-263-2918

会員専用ページ

キャリアナース

キャリアナースの登録はこちら



ご利用方法

左記利用申請書に必要事項をご記入の上、
必ず「電子会員証」と一緒にピューロランドチケット売場に
提示してください。入場とアトラクション利用のパスポート
チケットをお渡しいたします。
※「利用申請書」のみの提示、または「電子会員証」のみの提示では本企画を
ご利用できません。
必ず、「利用申請書」「電子会員証」の2つを一緒に提示してください。



協会からの発送物がHPからご覧いただけます！

当協会より、定期的に会員の皆様へ発送している紙媒体での研修等の案内を、ホームページの「会員専用ページ」内「協会からの発送物」より閲覧出来ます。直近に送付した案内だけではなく、バックナンバーもご覧いただけます。

パソコンやスマートフォンから、いつでもアクセス可能です。

会員専用ページには、そのほかにも様々な情報を掲載していますので、ぜひご活用ください！



会員専用ページ内
「協会からの発送物」

★会員専用ページへログインする際は、パスワードが必要になります。

★パスワードは、キャリアナースのマイページの「お知らせ」画面にて確認できます。

★キャリアナースの登録は、当協会HPにあるアイコンより新規登録をお願いします。

キャリアナースとは…

看護協会会員専用のWEBページです！登録すると会員情報の変更、研修受講履歴の閲覧が可能になります。また、最新の看護関連図書の文献検索や各種資料など看護業務に役立つ魅力的なコンテンツも閲覧できます！



めいちゃん

令和4年度 継続・新規入会 手続き受付中！

■継続の方

- ・お手元に会費の振込用紙(コンビニ用・銀行用)がある場合は、お早めにご納入ください。

■新規・再入会の方

有効期限／令和4年4月1日～令和5年3月31日

入会費／20,000円(県協会へ初めて入会する方)

年会費／11,000円(日看協5,000円＋県協会6,000円)

- ・会費納入方法に口座振替を選択いただくと、次年度以降の継続が簡単になります。
- ・ご不明な点等ございましたら、下記へお問い合わせください。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

第24回 神奈川看護学会参加者募集

テーマ「キャリアをつなぐ～持続可能な看護の発展～」

日時／11月26日(土) 10:00～16:00(予定)

場所／パシフィコ横浜 アネックスホール

プログラム／

- ・一般演題発表(口演・示説)
- ・講演会「持続可能な看護のキャリア」
講師：坂本 すが
東京医療保健大学 副学長
- ・シンポジウム「シームレスなケアの実現に向けて」
座長：草場 美千子
神奈川県看護協会 地域看護課 統括課長

シンポジスト：

曾我 利江
川崎市多摩区役所地域みまもり支援センター
地域支援課 課長
河村 朋子
磯子区医師会訪問看護ステーション
在宅部門統括管理責任者
中村 茜
在宅看護センター Life & Com
在宅看護専門看護師

- ・看護研究なんでも相談コーナー・ミニ支援講座
- ・訪問看護認定看護師活動紹介・相談コーナー
- ・ランチョンセミナー
- ・神奈川県看護協会からの情報発信
- ・企業展示 他

参加申込期間／8月1日(月)～10月31日(月)

参加申込みにつきましては、参加者募集案内(チラシ)またはホームページをご覧ください。

問合せ／神奈川看護学会事務局 ☎045-263-2926

表紙の 写真

患者様に 寄り添う看護を目指して

— 茅ヶ崎徳洲会病院(茅ヶ崎市)

当院は茅ヶ崎の南側(海側)に位置し2015年5月に132床急性期病院としてリニューアルしました。小規模ですが発熱トリアージや発熱外来にも積極的に対応しています。救急件数も増加し月160件を超えるようになりました。院内に茅ヶ崎駅前訪問看護ステーションが同居しておりスムーズな在宅との連携を心掛けています。また、一人ひとりの看護職員が主体的に成長できるよう教育研修の充実に取り組んでいます。全職員数が約300人と少ないですが、他職種とはフレンドリーな良い関係です。その強みを活かし患者様やご家族の不安な気持ちに寄り添った看護を目指しています。今年度はHCU(ハイケアユニット：高度治療室)の開設を目標にしています。さらに信頼していただける病院を目指し努力を続けたいと思います。

看護部長 大澤 栄子

編集後記

今回初めて編集後記を担当します！梅雨も明け、蝉の声聞こえる季節になってきました。新しい環境で3ヶ月を迎えた方もいるかと思います。皆さん、疲れを癒しにピューロランドに出かけてみてはいかがでしょうか？

(J.U)